

表紙物語

8月26日、今年最後となる第4回巡回講座が管内12箇所で行われた。この日は東一東京青果(株)果実部審議役である渡邊勝俊氏をゲストに招き、最新の市場動向から見たりんご生産についてお話いただいた。初の試みとして、各会場での様子がみられるようタブレット端末での生配信も実施。渡邊氏は「サンツがるなどの早生種は鮮度重視」とし、適期収穫の利点について、①硬度が高いものがお届けできる②他産地の中生種が台頭する前に売り場をしっかりと確保して売り切ること、より収益化が見込めると話し、着色を重視する晩生種との栽培方法の差について強調。生産者の作業の大変さを労いつつも早期出荷への理解を求めている。

また販売課職員からは「着色以上に新鮮な食味が大切であるため、適期収穫・当日入庫をお願いしたい」とサンプルを用いて選果基準の説明が行われた。



農作業事故ゼロを目指しましょう



サンプルを用いた目合わせ



渡邊氏より市場視点のお話を聞く



渡邊氏の話は各会場でタブレット端末へ生配信することで、出席した生産者へ共有された



生産者目線の巡回講座は4・5・6・8月の年4回開催

JA相馬村広報

りんごの森
2022.9 Vol.482

■発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日
2022年9月15日

JA 相馬村概況

〈令和4年8月末日現在〉

組合員数	856人
(うち准組合員数)	373人
出資金	611,135千円
貯金額	9,990,157千円
共済保有高	3,082,081万円